



# アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 …… 1,256戸  
●人口 …… 3,862人  
男性/1,895人 女性/1,967人  
令和5年1月31日現在



出東こども園の年長児「きりんぐみ」26人のみんなです。

この春には、出東小学校に入学する子や他校へ行きお別れする子もいます。

出東小学校の新1年生は、他園からやってくる子もあわせ31人で4月11日の入学式を迎える予定です。

子どもたちみんな「出東の宝」です。地域みんなで温かく見守り、育てていきましょう。



## 人権について考えてみよう (Vol.4)

法務省 人権キャッチコピー

「誰か」のこと じゃない。

現在、法務省人権擁護局から出されている我が国の主な人権課題は次の17項目です。

- ① 女性の人権
- ② 子どもの人権
- ③ 高齢者の人権
- ④ 障がい者を理由とする偏見や差別
- ⑤ 部落差別(同和問題)の解消
- ⑥ アイヌの人々に対する偏見や差別
- ⑦ 外国人の人権
- ⑧ 感染症に関連する偏見や差別
- ⑨ ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別
- ⑩ 刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別
- ⑪ 犯罪被害者やその家族の人権
- ⑫ インターネット上の人権侵害
- ⑬ 北朝鮮当局による人権侵害問題
- ⑭ ホームレスに対する偏見や差別
- ⑮ 性的指向及び性自認(性同一性)を理由とする偏見や差別
- ⑯ 人身取引(性的サービスや労働の強要)
- ⑰ 震災等の災害に起因する偏見や差別

昨年、出東地区で行った人権アンケートの結果「こんなにたくさんの人権問題があることを初めて知った。」という感想がありました。これらの人権課題は決して、自分以外の「誰かのこと」、「自分には関係のないこと」ではありません。自分や自分の身近な人の問題として捉え、互いに人権を尊重しあうことの大切さを認識し、他人の人権にも配慮した行動をとることが求められています。



1月  
5日

## 上手に書けたよ、書初め会

木

出東地区青少年育成協議会



保寿寺住職の藤岡牧雄さん・由理子さんを講師に、小学生を対象に書初め会を開催しました。

参加した6人の子どもたちは、丁寧に指導を受けながら、課題の「初日の出」「未来の夢」「強い意志」「全力投球」を、手本をしっかりとらみながら、真剣な面持ちで力いっぱい作品を書き上げていました。

書くたびに、上手くなる子どもたちの吸収力に驚かされつつ、それぞれに個性豊かな素晴らしい作品に仕上がりに、運営したスタッフもパワーをもらったような気がしました。「初日の出」から「未来の夢」を描き、「強い意志」を持って、何事にも「全力投球」できる一年となりますように！

1月  
7日

## 目指すは相手チームの旗!

土

自主企画事業/子育て部

今回初の試みとして、インドアYUKIGASSENを開催。大人と小中学生合計30名が、5名で1チームとなり6つのチームに分かれリーグ戦で対戦しました。

はじめに、子どもでもプレーしやすいよう出東パージョンにアレンジしたルールの説明を受け、いざ合戦。敵チームのフラッグを先に取って勝利しようと、段ボールの壁に隠れ相手の出方を見ながら、狭いコートを疾風のごとく駆け抜け、フラッグをスライディングで狙いに行きます。それを守る相手チームは必死に雪玉(もどき)を当てに行く攻防戦が繰り広げられました。

外気温が低く凍えるような日でしたが、会場のコミセン集客室は、声援や熱気で汗をかくほど盛り上がり、参加した小学生の一人は「優勝できなくて悔しかった。来年は絶対勝ちたい」と抱負を語ってくれました。



1月  
22日

## 人権を訴える温かな曲を披露 人権コンサート

日

出東地区・人権同和教育研究指定事業推進委員会



安来市を中心に、学校や福祉施設、公共施設などで演奏活動をする音楽ユニット「ふれあい」を招き、「明日は笑いながらやってくる」をテーマに、コミセンで人権コンサートが開催され、45名の参加者が歌と演奏・トークから人権について楽しく学びました。

メンバーの方の体験談から作られたオリジナル曲をはじめ、中島みゆきの楽曲「ファイト」や、一緒に簡単な手話で参加する「私と小鳥と鈴と」など9曲が披露され、参加した人からは「竹田の子守歌の歌詞の持つ深い意味を知ることができた」「同和問題に向き合っていて活動している皆さんの勇気と優しさに感動した」などのコメントが寄せられました。

同コンサートは、研究指定事業推進委員会が主催、出東地区社会福祉協議会が共催して開催したもので、当日は日赤のウクライナ人道支援の募金も呼びかけ、多くの募金が寄せられました。

2月  
16日

## 自治会問題意見交換会

木

出東地区自治協会

出東地区自治協会と市役所との自治会問題意見交換会が行われました。

今年度、自治会長を対象に行った「自治協会アンケート」とさらに各自治会で話し合っていた「自治会問題検討票」から明らかになった課題について、市役所から自治振興課 三成主任・山本自治会加入推進員が、出東地区自治協会からは高島副会長・三島副会長・足立副会長・永瀬センター長・竹下チーフが出席し、意見交換を行いました。

初めての意見交換でしたが ①高齢化・後継者不足 ②少人数自治会 ③自治会配布物 ④役職の負担感・役職を減らす ⑤自治会をつくる意義、加入のメリット・デメリット ⑥空家対策 ⑦人口増加に向けて、子育て世代の移住と定住化の促進、等の出東地区の課題について熱心に話し合われました。

出雲市自治振興課の考え方、出東自治協会が抱えている問題について、共有できたのではないかと思います。今後は、更にテーマを絞って具体的な内容について意見・情報を交換していくことを確認しました。



## 松江藩医として活躍した 飯塚文庵

飯塚文庵は、文政元年(1818年)出雲郷三分市の医師、飯塚元庵の二男として現在の砂川地区に生まれる。天保10年(1839年)21歳のときに京都に遊学し、高階安芸のもとで西洋内治科さらに、産科を修めて帰郷し開業した。

医業に精励し、慶応元年(1865年)には三人扶持で松江藩の藩医となり、翌年には二人扶持を加増され一代士族となった。

松江藩は明治2年(1869年)松江横浜町に仮病院医学所を設け、翌明治3年(1870年)規模を拡大して、医学部附属病院となったと

き、文庵は「郷中西洋医学生世話役」に任命された。出雲国各部には教導所(医学校と皇漢学校の支校)が設置され、文庵は中洲村や沖洲村に置かれた教導所で郡内の医師を集めて西洋医学の講習を行った。「斐川町史」にはこの時に参加した、18歳から78歳までの医師22名の名前が掲げられている。

のちに文庵は永井淵造とともに、黒目村に設けた貧院の病人に薬を施すなどの徳を行ったが、明治35年(1903年)に死去した。門弟たちは、三分市荒神に碑を建立し、文庵の功労を称えた。その碑は現在もひっそりと建っている。



堀の内自治会内に建つ飯塚文庵の碑

古きを訪ねて

## 出東歴史散歩

Vol.4



# 祝 防犯功労者表彰を受賞 古川好美さん

暮らしに  
安全と安心を!

このたび、出東地区地域安全推進員協議会会長の古川好美さん(黒目新田)が、中国四国管区警察局長、中国防犯連合会連絡協議会連名の防犯功労者表彰を受賞されました。

古川さんは、平成18年から24年にかけて斐川地域安全推進協議会の会長も務められ、その間、同協議会では町内の落書き除去作業や町内中学生の落書き防止標語募集、東日本大震災における募金など数々の活動を展開。出東地区協議会でも、スーパーおだ店頭で、斐川交番の警察官や地域の子もたちとともに、巧妙化する特殊詐欺被害から高齢者を守るための街頭活動などを行い、地域の防犯意識の向上に努めています。

今回これら永年の功労が認められたもので、古川さんは「少しでも詐欺被害が減って安心して暮らせる地域になってほしい」と語ります。栄えある受賞おめでとうございます。



## コラム 地域のために頑張ってます!! 「出東地区社会福祉協議会」



デイサービス奉仕作業



大黒山ファミリー登山

♥活動の目的  
誰もが役割や生きがいをもち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域社会の実現に向けて、地域福祉を担う民生児童委員、コミセン、学校、そして自治協会を中心とした地域住民が、連携してそれぞれの役割を果たしながら活動を行っています。

♥主な活動  
地域の皆様からお寄せいただいた香典返しを主な財源として、コミセンでのふれあいサロンへの協力、老人クラブや地区身障者協会への助成、小学校、こども園への助成を行っています。  
残念ながら、新型コロナウイルス感染症対策のためここ数年中止となりましたが、盆明けの納涼祭には、そうめん流しや鮎のつかみ取りをしたり、秋には、さつまいもを焼き芋にして、こどもたちといっしょに食べたり、文化祭には、もちつきをして地域の皆さんと交流をしています。

♥その他の活動  
毎年6月には、出東デイサービスセンターの奉仕活動、年末12月には一人暮らし老人などへの慰問活動、小学校新1年生児童への家庭訪問も夏休みに行っています。また、今年度はじめて、親子のふれあいと地域の皆さんとの交流を目的に大黒山ファミリー登山を実施しました。

## 集いの中でたくさんの笑顔がありました 出東ふれあいサロン

9月 1日(木) 28日(水)

9月のサロンは、人権擁護委員の藤岡由理子さんを講師に「人権紙芝居」を行いました。「花さき山」では本当の優しさとは、「いのちのまつり」では先祖を敬い命の大切さを学びました。



10月 6日(木) 26日(水)

10月のサロンは、宝石石鹸インストラクターの清山久美子さんを講師に「宝石石鹸づくり」をしました。石鹸クイズでは聴覚を石鹸づくりでは視覚をつかって楽しみました。色選びなど選ぶ楽しさもあり夢中で手先を使って遊びました。



12月 1日(木) 21日(水)

12月1日のサロンは、えくぼさんの人形劇を鑑賞しました。人形劇にあわせた安来節などで楽しみました。12月21日のサロンは二胡十二楽坊さんの二胡の演奏を聴き、懐かしの童謡などをいっしょに歌いました。



11月 10日(木) 30日(水)

11月のサロンは、塩冶の「あげそげえんや」さんを講師に、特殊詐欺防止のお話を寸劇で分かりやすく学びました。困ったときは、相談をしましょう。花笠音頭で一緒に踊りました。



2月 2日(木) 22日(水)

山陰中央新報の槇野俊徳さんを講師に大人の新聞教室をしました。新聞の見方・読み方、取材の裏話、新聞で脳トレ、新聞活用術を学びました。



出東ふれあいサロンに参加しませんか! 詳しくは、コミセンまでお問い合わせください。

## おじゃまします Vol.4 出東のお仕事拝見!

### 地域に根ざし親しまれる 出東郵便局

出東郵便局は昭和7年3月に郵便取扱所として開設され、今年で91年目の歴史を数える。昭和44年には現在の場所に移転、現在に至っている。現局長で地元三分市の大森茂樹さん(61)は、前任地から着任し10年目を迎える。

出東郵便局で取り扱う業務は、お馴染みの郵便・ゆうパックの受付、カタログゆうパックの販売、貯金や保険の販売など多岐にわたり、近年は資産運用商品の投資信託の紹介業務や、がん保険の販売など幅広い商品を提供。地域の方々のニーズにあった生活を支えている。その一方、業務のデジタル化が進み、スマホ決済やタブレットによる各種申し込みも増え、マスターするのが大変だと苦勞もあるようだ。

出東の地域活動で盛んな「あいさつ運動」も、「出東の子どもたちを元気に!」との思いから、大森局長が率先して実施。「子どもたちの元気なあいさつを受けると、逆にエネルギーをもらった気になり、朝から気持ちよく仕事に向かえる」という。一方で「徐々に通学する子どもたちが減り、寂しい気持ちにも」。コロナ禍の前までは、郵便局として夏の納涼まつりや文化祭に毎年参加し、イベントの盛り上げに一役買っていたが、ここ3年はそれもままならない状態が続く。

最後に、「地域の皆様にとって身近で気軽に、そして安心してご利用いただける物流・金融機関としてサービスできるよう社員一同常に心掛けています」と、アピールも忘れない。



INFORMATION 出東郵便局 ●斐川町三分市1052番地 ●TEL0853-62-2952 ●社員3名



4月

# 出東地区 行事予定



| 月  | 火                | 水      | 木                          | 金                      | 土                      | 日                                |
|--|------------------|--------|----------------------------|------------------------|------------------------|----------------------------------|
| <b>INFORMATION</b> <p>◆リサイクルステーションは、古新聞・チラシ・本・雑誌・アルミ缶・廃油・段ボール・古着を回収します。<br/>(オープン 8時30分～17時)</p> |                  |        |                            |                        |                        |                                  |
| 3  | 4                | 5      | 6                          | 7                      | 8                      | 9                                |
|  | 燃えるゴミ            |        |                            | 燃えるゴミ<br>埋立ごみ<br>飲料用空缶 | リサイクルステーション            | リサイクルステーション                      |
| 10   | 11               | 12     | 13                         | 14                     | 15                     | 16                               |
| ●東中<br>入学式・始業式<br>●小学校始業式  | ●小学校入学式<br>燃えるゴミ | あいさつ運動 |                            | 燃えるゴミ<br>ペットボトル        | リサイクルステーション            | 知事・県議会議員<br>選挙投票日<br>リサイクルステーション |
| 17   | 18               | 19     | 20                         | 21                     | 22                     | 23                               |
|  | 燃えるゴミ            | あいさつ運動 |                            | 燃えるゴミ<br>破砕ごみ          | ●自治協会総会<br>リサイクルステーション | リサイクルステーション                      |
| 24   | 25               | 26     | 27                         | 28                     | 29                     | 30                               |
|  | 燃えるゴミ            | あいさつ運動 | ●コミセン喫茶<br>●虹教室<br>(3年生以上) | 燃えるゴミ<br>空きびん          | 昭和の日                   |                                  |

## 出東陶芸クラブ

自分で作ったカップで  
コーヒー飲んで  
みませんか？



▲出東こども園での給付け体験

出東陶芸クラブは伝統ある陶芸の技術を生かし、直江陶芸クラブと「斐川陶友会」を結成し、町の文化祭や出東文化祭などの地域イベントに参加しています。さらに介護施設での陶芸教室、陶芸作品を通して一人暮らしの高齢者との交流、出東こども園などに訪問し、世代間交流を図るなど地域活動にも参加しています。コロナ禍の影響で、近年あまり活動が出来ていないのが残念です。昨年、今までの陶芸場が新しく立て替えられ、内外装が一変、とても作業がやりやすくなりました。活動は毎月第2木曜日の午前中、年会費3,000円。出東陶芸クラブは、現在男女6名で活動しています。一緒に作陶活動を通して楽しみましょう。みんな最初は初心者です、丁寧に指導します。

サークルさん  
いらっしや〜い  
待ってま〜す!



## The Voice

～皆さまからの声～

出東地区には食事に関する所があんまりないように思います。そのため、出東(ふるさと)の自慢出来る郷土料理が無いように思います。そこで、出東地区の特産物を使った具材でレシピを作り、出東中の台所に浸透させて出東グルメとして、ふるさと出東の郷土料理としてはいかがでしょうか。

(中洲・50代女性)



皆さんの声を募集しています!!コミセンまでお寄せください。

### ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区の福祉事業に活用させていただいております。

香典返し 金一封 瀬崎 兼次 様(川東中組)

香典返し 金一封 池田 弘美 様(農友)

ご厚志誠にありがとうございました。